

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭・カラーライフデザイン	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	色への興味と理解を深め、生活やビジネスシーンに取り入れられている色彩やデザインについての基本的知識を学び、目的にあったカラーコーディネーションを実現するための技能を身に付け、活用することができる。 豊かな衣食住生活の実現と産業における色彩の効果など、場面に応じた具体的な配色例を作ることができる。
使用教科書 副教材等	たのしい！おいしい！テーブル・カラー・コーディネート(日本色研事業株式会社) ファッション&ビューティーの色彩(日本色研事業株式会社) インテリア・カラー・ブック(日本色研事業株式会社)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
趣旨	色に関心をもち、自分のイメージを色彩で表現しようとする。	色彩の心理効果や配色が生活や商品に与える影響とその課題を見つけ、創造的に思考を深め、創意工夫し表現することができる。	色の表示、色彩心理、色彩調和に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、配色イメージを美しくかつ創造的に適切に活用することができる。	色のはたらきや役割についての基礎的・基本的な知識を身に付け、衣食住生活や商品における色のイメージや配色を理解することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	1 生活の中の色彩	・行動観察 ・ワークブック ・プレゼン発表 ・提出課題	・行動観察 ・ワークブック ・プレゼン発表 ・提出課題
	2 光と色		
	3 色の表示	12.5%	12.5%
	4 色彩心理	技能	知識・理解
後期	5 色彩調和	・ワークブック ・プレゼン発表 ・提出課題	・ワークブック ・小テスト ・提出課題
	6 暮らしの中で役立つ色彩計画		
	7 イメージカラートレーニング	12.5%	12.5%
	8 カラーシュミレーション① ・食空間と色彩	技能	知識・理解
後期	9 カラーシュミレーション② ・ファッションと色彩	・ワークブック ・プレゼン発表 ・提出課題	・ワークブック ・小テスト ・提出課題
	10 カラーシュミレーション③ ・インテリアと色彩		
		12.5%	12.5%

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	1 生活の中の色彩	1	
	5	2 光と色 ・色の見え方 ・生活の中の色どり ・色の見え方 ・色の不思議 ・照明と色の見え方	5	
		3 色の表示 ・色の分類と色の三属性 ・色彩体系 ・「トーン」について	11	
	7	4 色彩心理 ・色の見え方とイメージ ・色の心理的效果 ・色の視覚効果、知覚的效果 ・色の判別	10	
		5 色彩調和 ・美しい配色のルール ・色相配色とトーン配色演習①	6	
	9	前期の学習のまとめ	2	
	後期	10	5 色彩調和 ・色相配色とトーン配色演習② ・色相配色とトーン配色演習③ ・色相配色とトーン配色演習④	8
		11	6 暮らしの中で役立つ色彩計画	2
7 イメージカラートレーニング 演習① 演習②			4	
12		8 カラーシュミレーション① ・食空間と色彩	6	
		9 カラーシュミレーション② ・ファッションと色彩	6	
1		10 カラーシュミレーション③ ・インテリアと色彩	7	
		3 後期の学習のまとめ	2	

5 その他

- ・ 生活全般の色彩に関わる個人の作品制作やその作品発表会を行います。
- ・ グループワークや人前での発表が得意な人に向いています。
- ・ 資料(雑誌や写真の収集)等、授業前に個人で準備し、作品を制作する必要があります。
- ・ 色彩検定を受検する場合は別途受検料やテキスト、問題集を購入して勉強することをおすすめします。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭・消費生活	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・4 年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	経済社会の変化と消費生活、消費者の権利と責任、消費者と企業や行政とのかかわり及び連携の在り方などに関する知識を習得するとともに、持続可能な社会の形成、消費者の支援に必要な能力や態度を身に付け、それらを活用することができる。
使用教科書 副教材等	消費生活(教育図書)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
趣旨	生活産業の担い手として、消費者と企業や行政との連携について関心を持ち、持続可能なライフスタイルを確立しようとする。	生活産業の担い手として消費者と企業や行政と連携し、持続可能なライフスタイルの確立に向けて課題を見だし、思考を深め、創意工夫し、表現することができる。	経済社会の変化と消費生活、消費者の権利と責任、消費者と企業や行政とのかかわり及び連携の在り方などに関する技能を身に付け、活用することができる。	経済社会の変化と消費生活、消費者の権利と責任、消費者と企業や行政とのかかわり及び連携の在り方などに関する知識を身に付け、それらの知識を活用することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	なぜ「消費生活」を学ぶのか 第1章 社会を支える消費者 第2章 消費者被害と消費者の権利・責任 第3章 消費生活の安全と自由 第4章 消費者の自立支援	・行動観察 ・ワークシート	・行動観察 ・ワークシート ・プレゼン発表 ・提出課題
		12.5%	12.5%
		技能	知識・理解
		・ワークシート ・プレゼン発表 ・提出課題	・ワークシート ・小テスト ・提出課題
		12.5%	12.5%
後期	第5章 環境と消費者 第6章 消費者契約と法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
		・行動観察 ・ワークシート	・行動観察 ・ワークシート ・プレゼン発表 ・提出課題
		12.5%	12.5%
		技能	知識・理解
		12.5%	12.5%
		12.5%	12.5%

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	なぜ「消費生活」を学ぶのか	1	
	5	第1章 社会を支える消費者 第1節 消費生活の役割 第2節 生涯の計画と管理 第3節 社会の変化と消費生活の変化	9	
		6	第2章 消費者被害と消費者の権利・責任 第1節 消費者が受ける不当な不利益 第2節 消費者の権利確立の方策	4
	7		第3章 消費生活の安全と自由 第1節 消費生活の安全の確保 第2節 消費生活の自由の確保	15
		8	第3節 信頼できる情報の確保	
	9	第4章 消費者の自立支援 第1節 支援の必要性 第2節 事業者からの支援	4	
		前期の学習のまとめ	2	
	後期	10	第5章 環境と消費者 第1節 はじめに 第2節 地球環境と私たちの生活 第3節 消費の価値観の変化と環境問題	21
11		第4節 人間の消費活動が地球環境に与える影響 第5節 持続可能な社会への枠組み		
12		第6節 商品サービスの選択と利用と環境問題 第7節 エシカル消費 第8節 持続可能なライフサイクル		
1		第6章 消費者契約と法 第1節 生活の中の契約 第2節 契約と責任 第3節 複雑・多様化する販売方法と悪質商法 第4節 消費者取引と関連法	12	
		2		第5節 電子商取引と消費生活 第6節 多様化する支払方法と資金調達 第7節 グローバル化と消費生活
		3		後期の学習のまとめ

5 その他

消費者問題や消費者の権利に関わる法律、環境問題等の授業を基に、個人やグループでの調べ学習や発表会を行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭・子どもの発達と保育	単位数	2(通年)
		学年等	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	子どもの発達の特性を理解し、発達過程、保育などに関する知識と技術を習得するとともに、子どもの健全な成長に関心を持ち、子どもに関わる意欲や能力、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身に付け、それらを活用することができる。
使用教科書 副教材等	子どもの発達と保育 新訂版(実教出版) 子どもの発達と保育 新訂版 学習ノート(実教出版)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
趣旨	子どもに関心を持ち、子どもにかかわろうと意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする。	子どもの発達をふまえ、家族の役割や地域の子育て支援について課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、創意工夫して表現できる。	子どもとの触れ合いや子育て支援を行う人々と交流を図る学習を通して、保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に習得し、活用することができる。	子どもの発達の特性や生活と保育などに関する知識を総合的に身に付け、理解することができる。
評価割合	25%	30%	20%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	1章 子どもの発達の特性 2章 子どもの発達の過程 4章 子どもの保育	・ノート ・ワークシート ・行動観察	・ノート ・ワークシート ・行動観察
		12.5%	15%
		技能	知識・理解
		・小テスト ・提出課題	・ノート ・ワークシート ・小テスト
		10%	12.5%
後期	3章 子どもの生活 5章 子どもの福祉	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
		・ノート ・ワークシート ・行動観察	・ノート ・ワークシート ・行動観察
		12.5%	15%
		技能	知識・理解
		10%	12.5%
		・小テスト ・提出課題	・ノート ・ワークシート ・小テスト

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1章 子どもの発達の特徴 1節 発達と乳幼児期の意義 1 子どもの発達 2 乳幼児期の特徴 2節 発達と保育環境 1 発達と保育環境のかかわり 2 保育環境を整える 3節 児童観と発達観 1 児童観・発達観とは 2 こんにちの児童観・発達観	4
	5	2章 子どもの発達の過程 1節 子どもの発育 1 胎児の発育・発達 2 乳幼児の身体的特徴 3 乳幼児の生理的特徴 4 発育の評価	15
	6	2節 子どもの精神発達 1 運動機能と感覚機能の発達 2 知的発達 3 言葉の発達 4 情緒の発達 3節 人間関係の発達 1 愛着関係の形成 2 人間関係の広がり 3 子どもの人格形成	
	7	4章 子どもの保育 1節 保育の意義と重要性 1 保育とは 2 人間形成と保育	14
	8 9	2節 家庭保育と集団保育 1 家庭保育 2 集団保育 3節 保育の方法 1 保育者の役割とは 2 指導のポイント 前期の学習のまとめ	2
後期	10	3章 子どもの生活 1節 生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 食習慣の形成 4 衣生活と育児用品	28
	11	2節 子どもの遊び 1 生活と遊び 2 遊びの援助	
	12	3節 生活習慣の形成 1 生活習慣の意義 2 基本的な生活習慣 3 社会的な生活習慣	
	1	4節 健康管理と事故防止 1 日常の健康管理 2 病気の看病と予防 3 事故の防止と応急処置	
	2	5章 子どもの福祉 1節 子どもの福祉 1 児童福祉の理念 2 児童福祉に関する法律 3 児童福祉のための機関・施設 2節 子育て支援 1 社会的支援の必要性 2 児童虐待とその予防 3 これからの子育て支援 4 子育て支援の課題	5
3	後期の学習のまとめ	2	

5 その他

筆記及び実技の小テスト、長期休業中の課題、レポート作成、プレゼン発表会等、入試対策向けの授業を多く行います。グループワークや人前での発表、児童文化財(折り紙、布絵本等)を作ることが得意な人に向いています。実習材料費が必要となるため、登録前に保護者と相談をしてください。欠席をしても返金することはできません。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭・服飾手芸	単位数	4(前期2+後期2)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得するとともに、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用することができる。
使用教科書 副教材等	はじめての手芸 Made by Me(文化出版局)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
趣旨	手芸の種類や技法に関心をもち、その充実・向上を目指して主体的に取り組もうとする。	各種手芸の変遷や技法について課題を見だし、創造的に思考を深め、創意工夫し表現できる。	各種手芸の技法や服飾に関する技術を習得し、活用することができる。	各種手芸の技法や服飾に関する知識を身に付け、理解することができる。
評価割合	20%	20%	35%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	1章 手芸の種類と特徴 3章 服飾材料としての各種手芸の技法 手芸品の製作	・ワークシート ・行動観察	・ワークシート ・レポート ・行動観察
		10%	10%
	2章 手芸の変遷	技能	知識・理解
		・実習 ・提出課題 ・小テスト	・ワークシート ・レポート ・小テスト
17.5%	12.5%		
後期	3章 服飾材料としての各種手芸の技法 手芸品の製作 4章 課題研究	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
		・ワークシート ・行動観察	・ワークシート ・レポート ・行動観察
	10%	10%	
	技能	知識・理解	
・実習 ・提出課題 ・小テスト	・ワークシート ・レポート ・小テスト		
17.5%	12.5%		

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	1章 手芸の種類と特徴	8
	5	3章 服飾材料としての各種手芸の技法、手芸品の製作	6
	6	1 基礎縫い・小物の製作 ・材料の準備、用具の扱い方 ・印付け、裁断、本縫い、仕上げ	24
		2 基礎縫い・じんべいの製作 ・材料の準備、用具の扱い方 ・印付け、裁断、ポケット、紐、本縫い、仕上げ	
	7	3 刺しゅうと手芸品の製作 ・種類とその特徴 ・材料と用具 ・デザイン、基本的な刺し方の技法、仕上げ	16
	8	4 染色と手芸品の製作 ・種類とその特徴	8
	9	・材料と用具 ・デザイン、基礎的な染色の技法、仕上げ	
		2章 手芸の変遷	4
	前期の学習のまとめ	4	
後期	10	3章 服飾材料としての各種手芸の技法、手芸品の製作 5 織物と手芸品の製作 ・種類とその特徴 ・材料と用具 ・デザイン、基礎的な織りの技法、仕上げ	16
	11	6 編物と手芸品の製作 ・種類とその特徴 ・材料と用具 ・デザインとサイズの取り方、基礎的な編み方の技法、仕上げ	16
	12	7 その他の手芸と手芸品の製作 ・ビーズ ・エコクラフト	24
	1	・革細工 ・パッチワーク	
	2	4章 課題研究(自由製作)	10
	3	後期の学習のまとめ	4

5 その他

作品製作等の実習を行うため、こつこつと作業をすることが得意な人に向いています。
実習費が高額のため、保護者とよく相談をした上で履修登録をしましょう。欠席をしても返金することはできません。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭・フードデザイン	単位数	4(前期2+後期2)
		学年等	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得するとともに、食生活を総合的にデザインし、食育の推進に向けて、積極的に取り組むことができる。
使用教科書 副教材等	フードデザイン 新訂版(実教出版) フードデザイン 新訂版 学習ノート(実教出版)

2 評価の観点等

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
趣旨	食生活に関する諸問題に関心を持ち、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする。	食生活を総合的にとらえて計画・実践するために課題を見だし、思考を深め、食育の推進に寄与するために、創意工夫することができる。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する技術を身に付け、それらを活用することができる。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を身に付け、それらを活用することができる。
評価割合	25%	25%	25%	25%

3 評価の計画

学期	単元	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
前期	第1章 食生活と健康 第3章 食品の特徴・表示・安全 第5章 料理様式とテーブルコーディネート 第7章 食育	・行動観察 ・ワークシート ・プレゼン発表 ・提出課題	・行動観察 ・ワークシート ・プレゼン発表 ・提出課題
		12.5%	12.5%
		技能	知識・理解
		・行動観察 ・実技テスト ・プレゼン発表 ・提出課題	・行動観察 ・ワークシート ・小テスト ・提出課題
		12.5%	12.5%
後期	第2章 栄養素のはたらきと食事計画 第4章 調理の基本 第6章 フードデザイン実習	関心・意欲・態度	思考・判断・表現
		・行動観察 ・ワークシート ・プレゼン発表 ・提出課題	・行動観察 ・ワークシート ・プレゼン発表 ・提出課題
		12.5%	12.5%
		技能	知識・理解
		12.5%	12.5%
		・行動観察 ・実技テスト ・プレゼン発表 ・提出課題	・行動観察 ・ワークシート ・小テスト ・提出課題
		12.5%	12.5%

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	第1章 食生活と健康 1節 食事の意義と役割 2節 食をとりまく現状	8
	5	第3章 食品の特徴・表示・安全 1節 食品の特徴と性質 2節 食品の生産と流通 3節 食品の選択と表示 4節 食品の衛生と安全	16
	6	第5章 料理様式とテーブルコーディネート	32
	7	1節 料理様式と献立 2節 テーブルコーディネート	
	8 前期実技テスト	2
	9	第7章 食育 1節 食育の意義と推進活動	8
		前期の学習のまとめ	4
後期	10	第2章 栄養素のはたらきと食事計画 1節 からだのしくみと食べ物 2節 炭水化物 3節 脂質 4節 たんぱく質 5節 ビタミン 6節 ミネラル 7節 水・その他の物質 8節 消化と吸収	28
	11	9節 食事摂取基準と食事計画 10節 ライフステージと栄養計画	
	12	第4章 調理の基本 1節 調理とおいしさ 2節 調理操作 3節 調味操作	20
	1	第6章 フードデザイン実習 1節 献立作成	8
	2 後期実技テスト	10
	3	後期の学習のまとめ	4

5 その他

- ・グループワークや人前での発表が得意な人に向いています。
- ・裁縫が得意な人、日常的に料理をしている人に向いています。
- ・実習費が高額のため、登録前に保護者と相談してください。欠席しても返金できません。
- ・食物アレルギー等、食事制限のある人は、登録前に医師・保護者と相談すること。
- ・志望理由書、面接、小論文対策等、入試対策向けの授業を行うため、卒業年次に登録することになっています。